

JAMAGAZINE

Japan Automobile Manufacturers Association

2015. February
49



特集 カーセキュリティ

一般社団法人 日本自動車工業会

Drive FOR THE Future

あなたの想いを走らせる仕事

理系に進むとどんな仕事につくんだろう？

理系の女性社会人はどんな進路選択をしてきたんだろう？

日本経済を支え、世界でも活躍する日本の自動車産業。

そんな自動車業界で活躍する理系女子社会人と

会って話せるスペシャルイベント。

お菓子や飲み物と一緒に、カフェスタイルで気軽に話しましょう。



MY

理系女子
1Day

FUTURE

CAMPUS

イベント日時:

2015年3月28日(土) 午前の部: 10:30~ / 午後の部: 13:30~

イベント場所:

パレスサイドビル2Fマイナビルーム (東京メトロ東西線竹橋駅直通)

参加対象:

理系進学を考える女子中・高生(学年不問)、

理系の女子大生 *参加費無料

<http://mycampus.jp/>

主催: 一般社団法人 日本自動車工業会 株式会社マイナビ キャリアデザイン推進課

CONTENTS

特集 カーセキュリティ

自動車ねらいの実態と対策

2

／一般社団法人 日本損害保険協会 自動車盗難対策室 三村 雅彦

防犯対策を実践してみよう

12

／安全生活アドバイザー 佐伯 幸子

連載 クルマの楽しさ、素晴らしさとは

第65回

“クルマのライフスタイル”を提案する、 代官山 蔦屋書店「クルマ・バイクコーナー」

20

／JAMAGAZINE編集室

記者の窓

「消費増税の影響とは？」

23

／朝日新聞社 湯地 正裕

Topics

●2014年第3四半期および同年累計海外生産統計

24

●あなたとバイクの感動のストーリー (BIKE LOVE STORY) 受賞作紹介 優秀賞「はじまりは、いつもバイクから」 水品 誠一郎 さん

●国土交通省 “平成27年度「道路ふれあい月間」推進標語の募集について”



表紙イラストレーション

クルマのある風景

たかはし けいこ
高橋 恵子

武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科

2月はほっこりバレンタイン。寒いけど、あたたかい気持ちになれる季節。たくさんの「想い」を後ろに乗せて、大切な人にお届けします。そんなすてきな宅配屋さんを描きました。

『JAMAGAZINE』では表紙に、美術を専攻している大学生などの皆さんの作品を掲載しています。

自動車ねらいの実態と対策

一般社団法人 日本損害保険協会 自動車盗難対策室 三村 雅彦

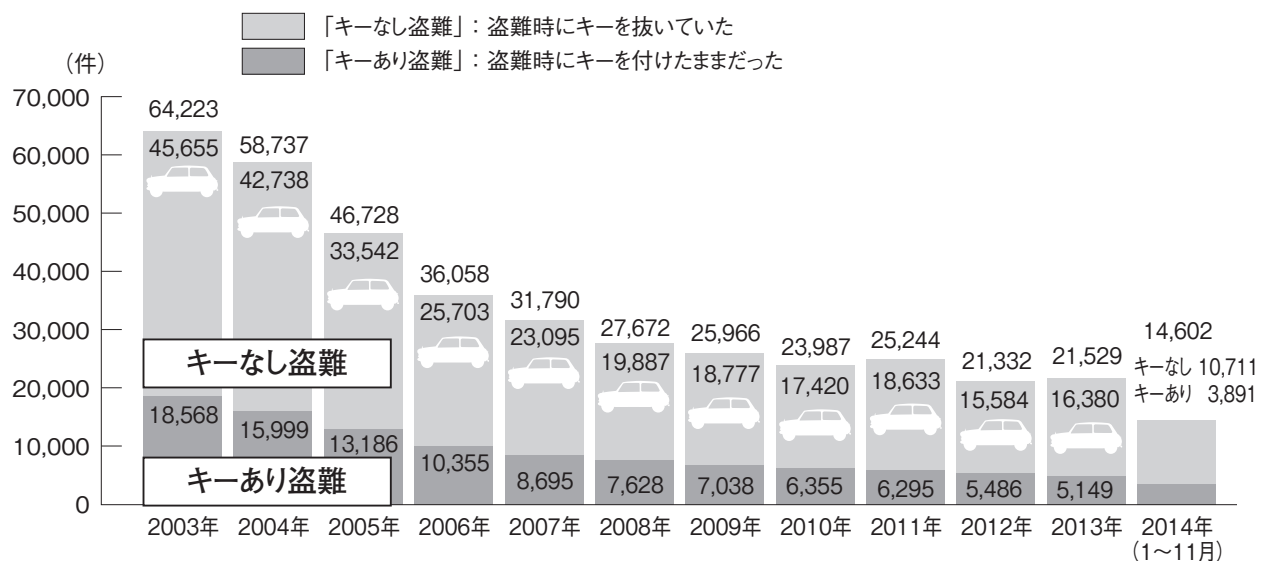
日本損害保険協会では、10月7日（語呂合わせで10・7：トーナ）を「盗難防止の日」と定め、2003年から自動車ねらい（車両盗難や車上ねらい等）に対する防犯意識の啓発を進めており、2014年も全国で12回目となる啓発活動を実施した。筆者も、2014年10月7日に東京駅丸の内北口で啓発チラシを配布したが（図1）、通行者にお話を伺っても「2013年に自動車が1日当たり約60台も盗難されていること」や「千葉県や愛知県などで自動車盗難が多発していること」について、ご存じない方が多かった。中には「知り合いが自動車の盗難に遭ったので、イモビライザーや他の盗難防

図1 東京駅丸の内北口での啓発活動のようす



筆者撮影

図2 自動車本体盗難の認知件数



出典：警察庁

※2008年から2012年までの数値は、統計に誤りが生じており現在精査中であるため、2014年8月1日現在、判明している統計をもとに作成している。よって、2008年から2012年の「キーあり」、「キーなし」の合計数と認知件数は一致しない。

止機器を使っている」という方もおられたが、日ごろから自動車盗難を意識されているという方は残念ながらまだまだ少数派である。皆さんにはこの記事を読んで、「大切な自動車を自ら守る」という意識を高めていただければと思う。

1. 自動車ねらいの実態

1) 犯罪件数（全国ベース）

まずは警察庁の統計から、自動車に関する犯罪件数を確認してみる。自動車本体の盗難は、2003年に64,223件に達したものの、自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム（以下、官民合同PT）^{※1}や各地の自動車盗難等防止協議会^{※2}による啓発活動をはじめとする、各種の取り組みにより徐々に減少してきており、2013年は21,529件となっている（図2）。しかしながら、ここ数年は増減を繰り返しており、決して楽観する

ことができない状況が続いているといえる。

次に車上ねらい・部品ねらいの件数だが、2007年には24万件を超えていたが、年々減少傾向にあり、2013年には13万件ほどになっている（表1）。

これらの数字を見て、皆さんはどのように感じられたでしょうか。他の犯罪と比較してみると、殺人事件は938件、強盗事件は3,324件、放火事件は1,086件、詐欺事件は38,302件、住宅対象の侵入盗事件は57,821件となっている（いずれも2013年の認知件数。警察庁統計から）。自動車本体の盗難件数は、ニュースでよく取り上げられている詐欺事件に比べれば少ないものの、その他の犯罪と比べると思った以上に多いと感じないだろうか。人間の肌感覚として、オレオレ詐欺のような詐欺事件はニュースで聞くので「気をつけよう」という意識も働くが、自動車盗難についてはなかなかニュースに取り上げられないので、皆さんに意識してもらいにくいのである。

表1 車上ねらい・部品ねらいの認知件数

単位：件数

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
車上ねらい	168,129	154,836	143,863	123,512	111,771	102,798	89,039
部品ねらい	78,016	75,423	75,361	67,307	57,014	51,197	46,486
合計	246,145	230,259	219,224	190,819	168,785	153,995	135,525

出典：警察庁

表2 自動車盗難の認知件数ワースト10都府県

順位	2013年			2014年（1～11月）		
	都道府県	盗難認知件数	対前年増減率	都道府県	盗難認知件数	対前年増減率
1	千葉	3,295	38.40%	愛知	2,427	-2.60%
2	愛知	2,712	-14.90%	大阪	1,994	-7.90%
3	茨城	2,425	30.60%	千葉	1,713	-44.30%
4	大阪	2,400	-10.10%	茨城	1,636	-28.00%
5	神奈川	1,757	22.00%	神奈川	854	-48.10%
6	埼玉	1,689	-15.30%	埼玉	785	-51.00%
7	栃木	708	-0.30%	栃木	607	-8.70%
8	東京	667	20.60%	兵庫	420	-31.90%
9	兵庫	667	-23.30%	福岡	384	-32.50%
10	福岡	637	-26.00%	東京	361	-42.20%
-	ワースト10合計	16,957	4.70%	ワースト10合計	11,181	-29.20%
-	全国	21,529	0.90%	全国	14,602	-26.90%

出典：自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム

自動車盗難の特徴は、都道府県で多寡がはっきりしているということである。言い換えると、特定の地域で自動車が多く盗まれているのである。

2013年と2014年11月までの、自動車盗難認知件数ワースト10都府県を表2に示した。2013年は全国で21,529件の自動車盗難があったが、そのうちワースト10都府県の合計が16,957件で、実に全国の約8割を占めている。その一方、表には掲載していないが、46位の鳥取県は11件、島根県に至っては9件となっている。

よく「どうして愛知県や千葉県で多く盗まれるのか」と質問されるが、一般論としての回答は「①道路事情がよく、盗難車をすばやく移動させることができる。②自動車を解体する場所（ヤード^{**3}など）が近辺に存在する。③海外へ容易に持ち出せる港湾施設が存在している」ということになる。確かに愛知県、千葉県、大阪府、茨城県などはこの条件に当てはまるのである。

もちろん、ワースト10以外の道府県ではまったく安心、というわけではない。対前年増減率が大きく変化している地域があることから、他の道府県での盗難が増加する、という事態もあり得るのである。

参考までに、盗難多発県の取り組みを紹介する。愛知県自動車盗難等防止協議会・愛知県警察が2014年に製作したうちわ（図3）では、「愛知県1県で7地方（北海道+東北+北陸+中国+四国+九州+

図3 愛知県での啓発うちわ



出典：愛知県自動車盗難等防止協議会・愛知県警察

沖縄)の合計をはるかに上回る盗難件数が発生!!と、愛知県の実情をアピールしている。また茨城県では、茨城県警察本部・日本損害保険協会が製作したチラシ（図4）で「自動車盗難、人口10万人あたりの件数で7年連続ワースト1位」との切り口で訴えかけている。（ちなみに茨城県の盗難件数は2,425件で全国ワースト4位）。

2) 被害の実態

自動車盗難の被害の実態については、以下の4つのポイントが特徴として挙げられる。

○キーなし（盗難時にキーを抜いていた）の割合が高い

盗難被害に遭った自動車の4台のうち約3台がキーなし。つまりキーがなくても自動車は盗難されてしまうのである。

○被害回復率が低い

盗難被害に遭った自動車は、10台のうち約2台しか被害者の元へ戻っていない。

○乗用自動車以外も被害が多発

貨物自動車、建設用特殊自動車、農業用自動車

図4 茨城県での啓発チラシ



出典：茨城県警察本部／日本損害保険協会 関東支部 茨城損保会

(トラクター)などの被害が多い地域がみられる。

○カーナビやナンバープレートも被害

自動車本体だけでなく、カーナビなどの装備品や、ナンバープレートが盗まれることもある。

このような要因としては以下のことが考えられる。

○犯罪グループが犯行に関与

犯罪グループが組織的に関与し、犯行に及んでいるものがある。

○ヤード等で不正に解体

犯罪グループにより盗まれた車両は、ヤード等に運ばれ、不正に解体されているものがある。

○海外へ不正に輸出

盗難被害に遭った自動車は、解体されて中古部品として海外に不正に輸出されているものがあり、実際に海外において、日本で盗難被害に遭った自動車の部品等が多数発見されている。

○他の車両と合体させて販売・流通

解体した自動車盗難を他の車両と合体させて不正に車両登録を受け、販売・流通させる例がある。

○組織犯罪等の資金源となっている

盗んだ自動車やカーナビ等を販売して利益を上げるなど、暴力団や犯罪組織の資金源となっているものがある。

○盗んだナンバープレートを他の犯罪に利用

警察の捜査を逃れるため、盗んだナンバープレートを別の車両に取り付け、他の犯罪を行うときに使用する場合がある。

3) 手口

主な盗難の手口については、官民合同PTによると以下の通りだが、盗難された自動車がなかなか発見されないため、詳細な手口については解明できない部分が多い。

○窓のすきまから針金等を差し込んでドアを解錠し、車両に侵入する。

○ハンマー等で自動車のガラスを破壊し、車両に侵入する。

○工具等を使ってドアを解錠し、ステアリングロックを破壊してエンジンを始動する。

○車体にマグネット等で隠しているスベアキーを探し出す。

○家に侵入し、自動車のキーを盗む。

○レッカー、けん引車で自動車ごと盗む。

○カギを預かる駐車場などで自動車の使用者になりすましてキーを受け取る。

2. 日本損害保険協会による自動車盗難事故実態調査

ここからは日本損害保険協会が行っている自動車盗難事故実態調査に基づいたデータを紹介していく。

日本損害保険協会では、損害保険会社が2013年11月に保険金を支払った事案（自動車盗難619件、車上ねらい・部品盗難1,092件）を対象に、自動車盗難事故の実態を調査した^{*4}。

1) 「自動車本体盗難」初度登録から盗難までの期間（表3）

初度登録から盗難されるまでの期間は、年々長くなっており、2013年の調査では7年9ヵ月になっている。要因として、自動車の買い替えサイクルが長くなっていることだけでなく、相対的に新しい自動車の方がイモビライザー^{*5}などの盗難防止機器が高度化され、盗まれにくくなっているためと考えられる。「自分のクルマは新車じゃないから、だれも盗まない」とはいえない。「盗みやすいクルマ」を狙う窃盗犯も多く、古いクルマでも安心はできないのである。

2) 盗難発生場所（図5、6）

盗難発生場所に関して注目していただきたいの

は、自宅・契約駐車場とも、屋内に比べ屋外で圧倒的に盗難が発生しているということだ。屋内とは、屋根があり、かつ4方向が壁やシャッターで囲まれている場所で、侵入するには当然人目につく。おそらく窃盗団は、人目につきにくい屋外の駐車場所を選んでいるものと推測できる。

3) 「自動車本体盗難」 施錠の有無 (図7)

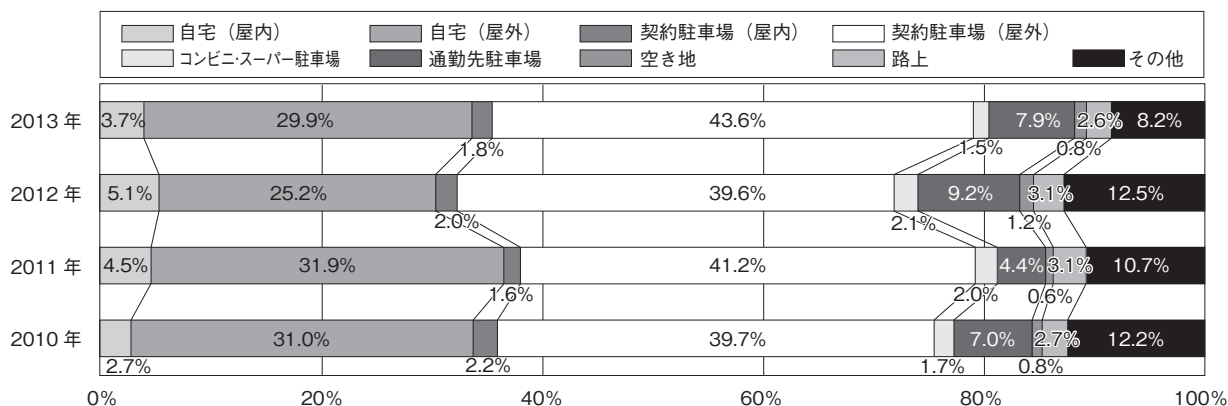
官民合同PTなどの啓発活動により、「少しの時間であっても自動車を離れる際には鍵をかける」という習慣は浸透しているようである。しかしながら窃盗団の手口も年々巧妙になってきており、2013年の調査では95.8%がロックをしている状態

表3 自動車本体盗難 初度登録から盗難までの期間

期 間	2010年11月調査		2011年11月調査		2012年11月調査		2013年11月調査					
	合計		合計		合計		未発見		発見		合計	
	支払件数	構成比	支払件数	構成比	支払件数	構成比	支払件数	構成比	支払件数	構成比	支払件数	構成比
6ヵ月未満	12	1.9%	19	2.8%	7	1.4%	17	3.4%	4	3.4%	21	3.4%
6ヵ月以上 1年未満	10	1.6%	22	3.2%	13	2.6%	22	4.4%	2	1.7%	24	3.9%
1年以上 2年未満	25	3.9%	47	6.9%	25	4.9%	33	6.7%	4	3.4%	37	6.0%
2年以上 3年未満	62	9.7%	35	5.2%	18	3.5%	19	3.8%	0	0.0%	19	3.1%
3年以上 4年未満	66	10.4%	40	5.9%	21	4.1%	19	3.8%	5	4.2%	24	3.9%
4年以上 5年未満	86	13.5%	75	11.0%	40	7.9%	20	4.0%	2	1.7%	22	3.6%
5年以上	375	59.0%	441	65.0%	384	75.6%	366	73.8%	102	85.7%	468	76.1%
合 計	636	100.0%	679	100.0%	508	100.0%	496	100.0%	119	100.0%	615	100.0%
不 明	2	-	4	-	4	-	4	-	0	-	4	-
総 合 計	638	-	683	-	512	-	500	-	119	-	619	-
盗難までの 平均月数	6年6ヵ月		6年7ヵ月		7年9ヵ月		7年6ヵ月		8年8ヵ月		7年9ヵ月	

出典：日本損害保険協会

図5 自動車本体盗難 発生場所 割合推移



出典：日本損害保険協会

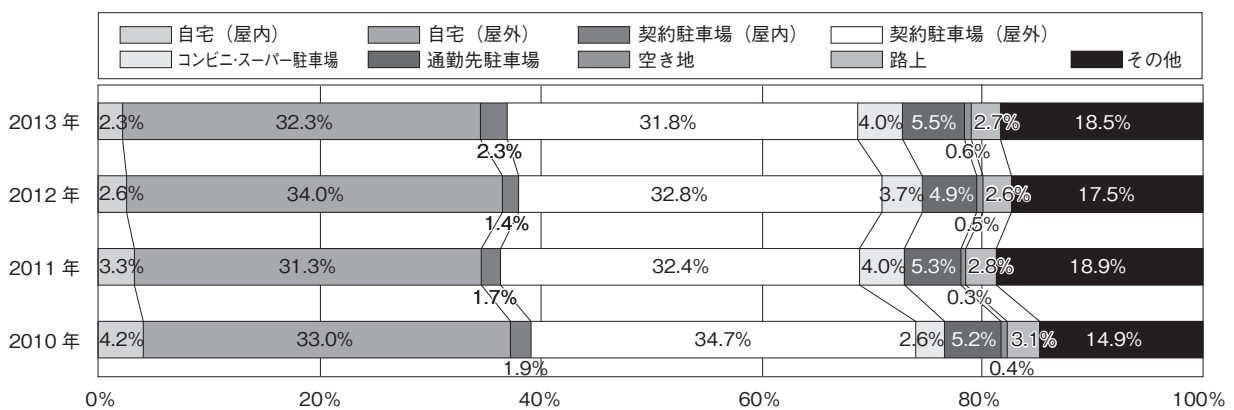
で盗難に遭っている。

4) 盗難発生時間帯 (図8、9)

盗難発生時間帯だが、深夜から朝(22時から9時)が車両盗難については約7割、車上ねらいについては5割強となっている。これは、人目につか

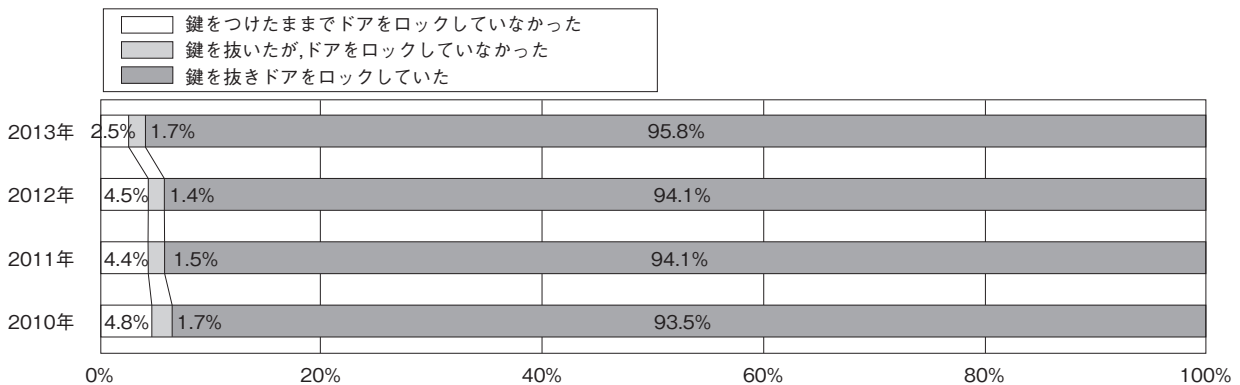
い時間帯を狙って窃盗団が犯行に及ぶためと考えられる。但し、車上ねらいについては日中の犯行も約2割にのぼるため、昼間でも注意が必要である。

図6 車上ねらい 発生場所 割合推移



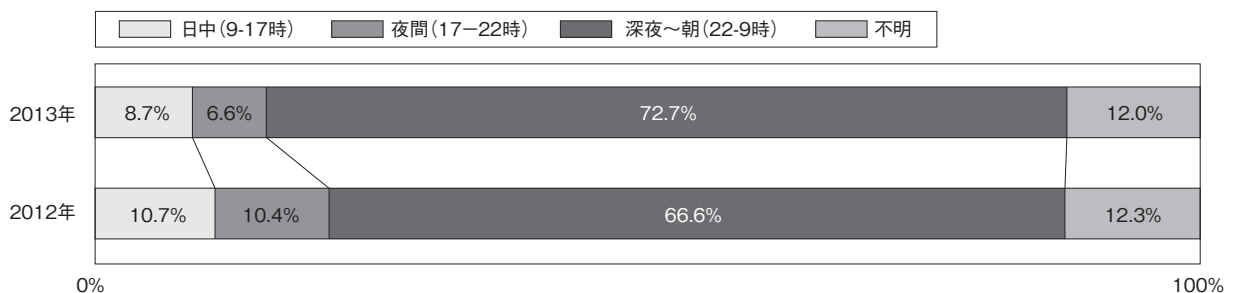
出典：日本損害保険協会

図7 自動車本体盗難 施錠の有無 割合推移



出典：日本損害保険協会

図8 自動車本体盗難 発生時間帯



出典：日本損害保険協会

5) 「自動車本体盗難」クラス別盗難状況 (図10)

「盗難に遭う自動車は高級自動車に決まっている」と思っている方が多いのではないだろうか。確かに高級乗用車も一定の割合があるが、2013年で最も割合が高いのはミニバンであった。他にもミディアムクラス、軽自動車、商用車など盗難される自動車は多岐にわたる。また意外かもしれないが、輸入車よりも軽自動車の方が盗難される割合としては大きいのである。

26.4%となり、対前年と比較して大幅に減少する一方、バンパー・ドアミラー等の外装部品 (10.4%)、タイヤ・ホイール (9.5%) の被害割合が増加している。

これらの部品は転売目的で狙われるケースが多いと考えられる。

6) 「車上ねらい」被害品割合 (図11)

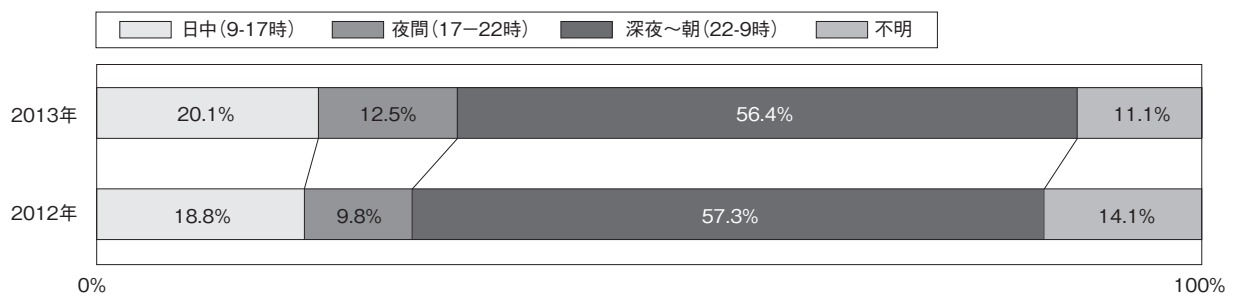
2013年の被害品割合では、カーナビの被害は

3. 自動車ねらい対策

1) 個人でもできる対策

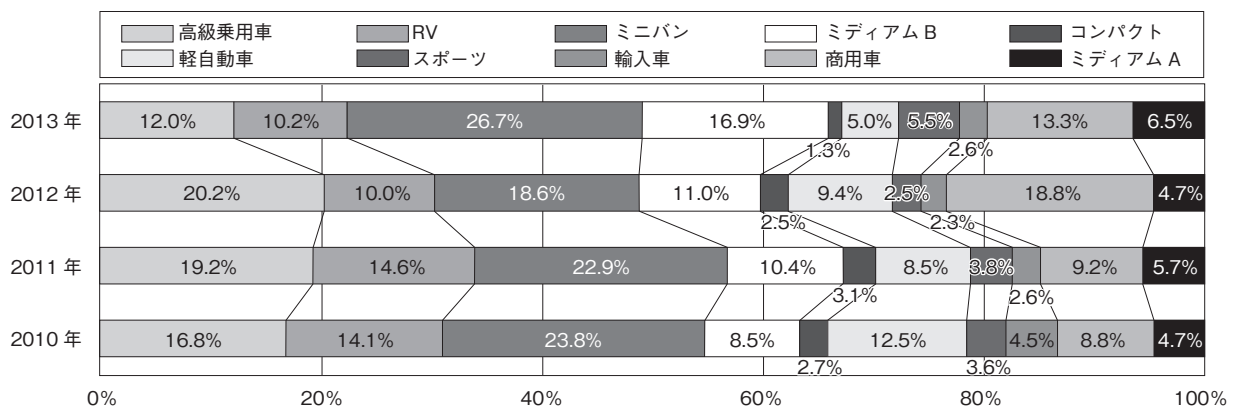
ユーザー一人ひとりで実践可能な盗難対策とし

図9 車上ねらい 発生時間帯



出典：日本損害保険協会

図10 自動車本体盗難 クラス別盗難状況推移



出典：日本損害保険協会

<主なクラス区分の詳細>

- ※1 高級乗用車：量販車種型が概ね排気量2.0リットル超の高級車
- ※2 RV：オフロード車など
- ※3 ミディアムB：量販車種型が概ね排気量2.0リットル超のもので量販価格帯が300万円以下のもの（非高級乗用車）
- ※4 コンパクト：量販車種型が概ね排気量1.5リットル以下のもの
- ※5 スポーツ：スポーツ・スペシャルティクラス
- ※6 商用車：商用に使用するトラックなど
- ※7 ミディアムA：量販車種型が概ね排気量1.5リットル～2.0リットル以下のもの

て、以下が挙げられる（図12）。

○確実な施錠

短時間でもクルマから離れるときは、完全に窓を閉め、キーを抜いてハンドルロックとドアロックを施す。

○イモビライザーの装着

自工会の取り組みにより、イモビライザー装着車種数は2013年時点で158車種となり、自動車盗難の防止に効果を上げている（図13）。

○盗難防止装置の活用

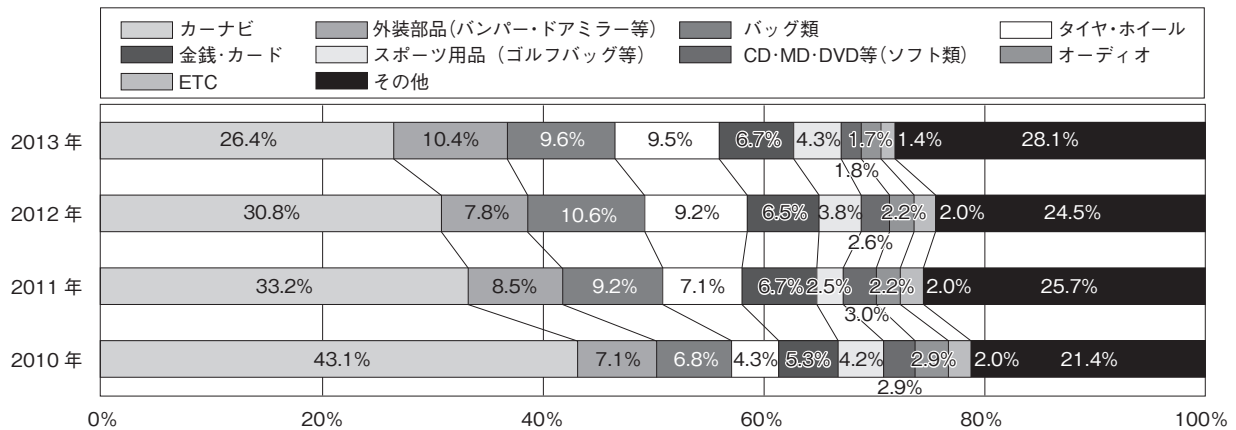
センサーが衝撃・振動・音等の異常を感知し警報音を発する警報装置、ハンドル固定器具、タイヤのホイールロック、GPS追跡装置等の盗難防止装置を活用する。

○防犯設備が充実した駐車場を利用

見通しがよく、防犯カメラや照明等の防犯設備が充実し、管理された駐車場を利用する。

○貴重品は車内に放置しない

図11 車上ねらい 被害品割合の推移



出典：日本損害保険協会

※その他は衣料品類・パソコン・情報端末・携帯電話・運転免許証等を含む

図12 個人でできる盗難対策



確実な施錠を心がける



さまざまな盗難防止装置を活用



駐車場の設備を確認



貴重品は放置しない

出典：自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム

車内に現金やカード類、カバン等の貴重品を置いたままにすると犯罪を誘発する。クルマから離れるときは、必ず持ち出す。

○合い鍵を隠さない

スペアキーをマグネット等でバンパーの裏に隠さないようにする。

2) 組織的対策

官民合同PTメンバーによりさまざまな対策が行われている。そのうちのいくつかを紹介する。

○盗難防止性能の高い自動車の普及

自動車メーカーに対し警察から自動車窃盗の手口実態等の情報を提供し、盗難防止性能の高い自動車の開発を図るよう働きかけるとともに、広報啓発によりユーザーによる盗難防止性能の高い自動車の選好を促している。

○イモビライザーの性能向上

盗難手口情報を踏まえ、さらなるイモビライザー性能高度化に努めるよう自動車メーカーに対し働きかけている。

○コンテナ貨物の厳正な審査及び検査の実施

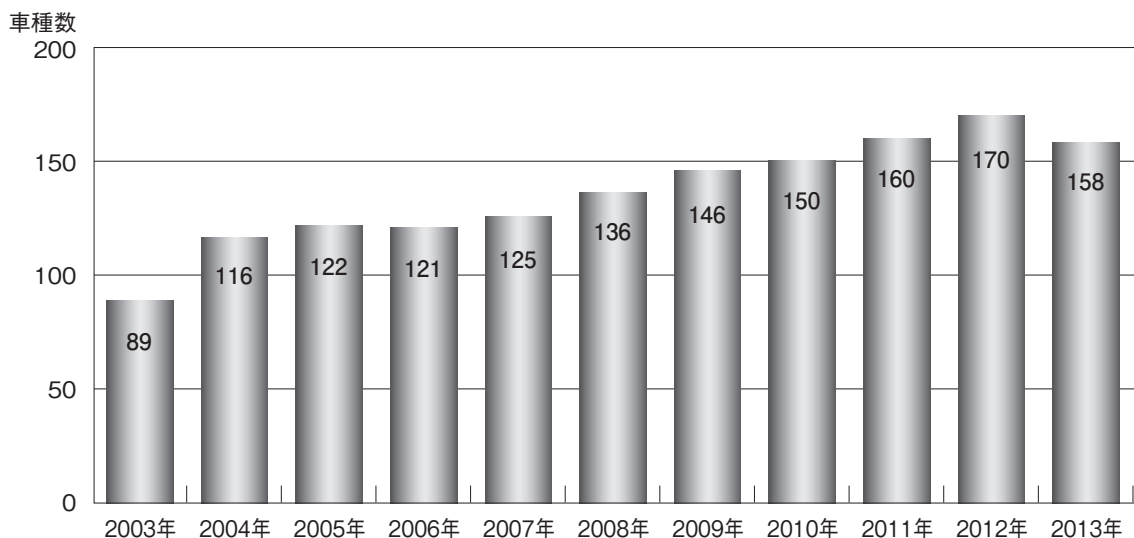
コンテナ詰めした状態で輸出申告することが可

能なコンテナ扱い通関を、盗難自動車の不正輸出の手口に利用されないことがないよう、税関、警察による情報交換を行い、厳正な審査・検査を実施している。

最後に改めて申し上げるが、自動車盗難は決して皆さんから遠い世界の話ではない。ユーザー一人ひとりの心がけで、1台でも多くのクルマを盗難被害から守っていただきたいと願うものである。

(みつむら まさひこ)

図13 イモビライザー装着車種数の変遷



出典：日本自動車工業会
※イモビライザーを設定（標準またはオプション）している車種数を合計したもの

※1 官民合同PT (図14)

「国際組織犯罪等対策に係る今後の取組みについて」(2001年8月29日国際組織犯罪等対策推進本部決定)に基づき、自動車の盗難及び盗難自動車の不正輸出を防止するための総合的な対策について検討するため設置された組織。構成メンバーは警察庁など4つの省庁と自工会、日本損害保険協会など19の民間団体、3つのオブザーバーから成る。

※2 各地の自動車盗難等防止協議会

官民合同PTを補完するための地方組織で、各地の警察と自動車関連の業界団体、日本損害保険協会などで構成されている。

※3 ヤード

警察では「周囲が鉄壁等で囲まれた作業所等であって海外への輸出等を目的として、自動車等の保管・解体、コンテナ詰め等の作業のために使用していると認められる施設」をヤードと呼んでいる。警察庁の調査では全国で2,100箇所を把握しており、千葉県や埼玉県、愛知県、茨城県などに多数存在している。

<ヤード関連の検挙事例>

- 茨城県では2013年10月までに、ベトナム人5人がトラクターの窃盗等で逮捕された。
- 千葉県では2013年11月までに、ナイジェリア人8人が窃盗の被害品であるワンボックスカー等を保管、解体していたとして逮捕された。

※4 自動車盗難事故実態調査

本調査は2000年から実施しており、今回が15回目となる。詳細は以下を参照。

<http://www.sonpo.or.jp/news/file/00920.pdf>

※5 イモビライザー (図15)

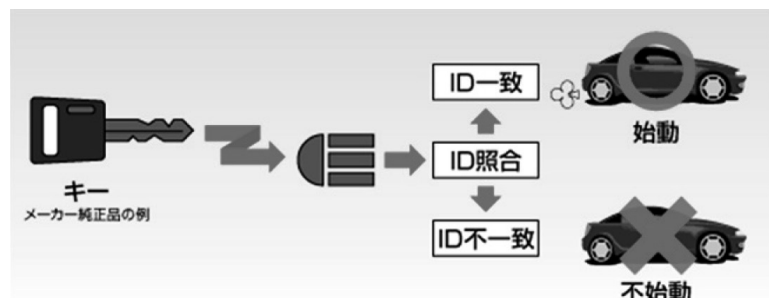
キーに内蔵されたトランスポンダから出される複雑な暗号 (IDコード) を車両本体内のコンピュータで照合し、正規のキーと判定されないとエンジンが掛からない盗難防止装置。キー自体の機能と電子的な暗号のダブルロックでクルマを守る。

図14 官民合同PTのようす



出典：自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム

図15 イモビライザーの仕組み



出典：自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム

防犯対策を実践してみよう

安全生活アドバイザー 佐伯 幸子

1. 防犯を考える際の要素

1) クルマの置き場所

クルマを購入する際に決めておく駐車場は自宅敷地内にある場合と、賃貸の駐車場の場合ではいろいろと違いがある。自宅でも屋根があるのか、壁に囲まれてシャッターが閉められるのか、庭の一部で屋根のみなのか、屋根もないスペースなのかさまざまだ。当然、あらゆる犯罪被害を避けるためには閉じられた空間が望ましいが、予算や敷地の関係もあろう。事前に自宅周辺地域の犯罪情勢などを警察のホームページなどでチェックしておき、「車上ねらい（車上荒らし）」「車両盗難」事件の発生状況を調べておきたい。犯行が多発している地域にはそれなりの条件があるはずだからだ。自宅周辺の人通りが少ないということは目撃者の目がないということになり、犯行をしやすいということがいえるだろう。

駐車場周辺の防犯カメラ設置状況も知っておきたい。例えば、防犯カメラが設置された交差点がそばにあり、そこを必ず通らなければならない条件であれば逃走経路としては都合がよくないとなる。逆に防犯カメラがなく、人通りもクルマ通りも少なく、しかし少し走れば幹線道路に出るような道では逃走しやすいと考えられる。つまり、駐車場を「クルマを止める場所」だけ見るのではなく、周辺環境も考慮すべきなのだ。

2) 自宅内駐車場

隣地・隣家との状態も考慮しよう。「排気ガスが入ってくるので困る」という苦情があると問題だ。車両の盗難などクルマそのものの問題ではなく、隣人とのトラブルを招いてしまうかもしれない。予算にもよるだろうが、できる限り排気ガスの点はトラブル回避を前提にして計画するべきだ。

自宅前の道路幅や人や車両の通行量も考える。道路からそのままクルマを入れて扉もなく開放されたままだと、深夜にレッカーのようなものでそのままクルマを持って行かれてしまったという事例もあったので注意したい。やはり道路からは伸縮ゲートなどで不審者の侵入を避ける対策をしておこう。もちろん、クルマの被害だけでなく住宅への侵入も防ぐためにも必要である。

やむを得ず屋根もなくゲートもないということであれば、車両盗難被害に備えて対策グッズを準備しよう。「この辺りは犯罪も起きていないし、まさかクルマを盗む人なんていないだろう」という感覚的な思い込みはやめた方がいい。「これまでに近隣で被害は発生していない。だから安心」と思うのではなく、「最初の被害車両になるかもしれない」という危機意識を持って準備するのが望ましい。

路面は土、砂利、アスファルトやコンクリートなどになろうが、クルマへのダメージを考えればアスファルト、コンクリートで舗装するとよい。駐車場に人が立ち入ればライトが点灯する「人感

センサーライト」「赤外線モーションセンサー付投光器型LED照明」があれば、不審者が立ち入った際に光で犯行を思いとどまらせる効果がある。防犯用品やセキュリティグッズの多くが音や光を発するものなのは、威嚇してそれ以上の行為をさせないためなので、夜間の侵入防止、盗難防止対策として設置したいものだ。つまり、クルマそのものでなく、駐車場＝クルマを置く場所の安全を確保するのだ。

3) 賃貸駐車場

自宅近辺に賃貸の駐車場を決める場合は、何か所かよく見て回るようにしたい。単に近いから、というだけでなく、周辺環境、道路事情、防犯カメラの有無、駐車場の路面などを見て、総合的に判断する。人通りはないよりはあったほうがいいし、例えば、隣地が飲食店等で排気管が駐車場に向いていると排出される油分でクルマが傷みやす

くなる。一般住宅でも換気扇が向いているとクルマへの影響があるので避けたい。

周囲が壁で囲まれていると人目につきにくい。金網などのネットフェンスであれば通りからの人目が期待でき、犯行の抑止になりえるだろう。

駐車場の入り口付近などに防犯カメラが設置されている場合（図1）、駐車場全体を網羅していなければカメラの死角に止めたクルマは危険という格差が生じるので、場所の選び方をよく考えて、不足であれば自分のクルマに十分な対策が必要になる。車体カバーを利用するかしないかも事前に考えておこう。

駐車場の路面も見る。土であれば湿度を嫌うタイヤにあまりよろしくない。汚れやひび割れなどのダメージも起きやすいだろう。砂利の場合は風や何らかの拍子に小石が車体に当たるなどのダメージが発生しやすい。アスファルトやコンクリートで舗装された場所を選びたい。

屋内の立体駐車場なら風雨の影響を受けず、安全性も高い。だが、パレットの動きでセキュリティシステムが作動してしまい、アラームが鳴り続けるなどのトラブルも考えられる。ライトの消し忘れによるバッテリーが上がってしまったときには面倒なことになるだろう。

図1 防犯カメラの角度にも気を配る



筆者撮影

図2 ワンボックスカーの向こう側は防犯カメラの死角！



筆者撮影

隣のスペースに止まるクルマの種類もよく見ることだ。両隣が車高の高いワンボックスカーだと、たとえ防犯カメラが設置されている場所でも車体が隠れてしまい、車上ねらいなどの犯行がしやすい場所になってしまう(図2)。隣のスペースのクルマがどの曜日や時間帯などに駐車しているか、ある程度事前にはリサーチしてから、駐車位置を選ぶことが望ましい。できれば一番奥まった場所は避けよう。切り返しは何度も必要だと、他のクルマへの接触などのトラブルが発生しやすいからだ。逆に自分のクルマが接触されることがないように車列の角は避けた方がいいだろう。

他の駐車車両の車種も知っておきたい。駐車代、駐車スペースの広さにもよるだろうが、例えば軽自動車ばかりの中に一台だけ高級車が止められていれば、目につきやすい。同程度の車両が止められている場合のほうが目立たずターゲットにされにくいだろう。さらに、同じような車種であっても、搭載する設備が比較して高額であればやはり狙われやすくなると考えられる。

駐車場のオーナー、管理会社などの防犯意識がその場にどれだけ反映されているか、契約する前によく確かめておくとよい。空きを埋めようと契約を急かすような場合、契約者がコロコロ変わるような場合も何らかの事情があるかもしれない。車上ねらいなどの被害がよく発生しているなどと自らはなかなか言わないだろう。仲人口には警戒して、客観的に比較検討して判断しよう。

いかなる駐車場であっても、そこにマイカーを止める以上は自己責任での安全確保が不可欠だ。何もしなければ安全とはいえない。他のクルマと比べて犯罪被害を受けないための対策をどれだけ実行するかが、犯行のターゲットに選ばれない条件となるのだ。

2. 自動車ねらい対策グッズ

1) 想定される犯罪被害と対策

クルマ関連でどのような犯罪被害があるか知っておくことは重要だ。車上ねらいや車両盗難はよく聞くことがあっても具体的な犯行は多岐にわたる。以下に、自動車ねらいの主な被害の実態と、防犯グッズの一例を挙げる。(商品及び参考価格は原稿執筆時点のもの)

①ナンバープレート盗難

盗難車両には別のクルマのナンバープレートが取り付けられているケースが多い。つまり、だれかのクルマのナンバープレートが盗まれているのだ。犯行に使われることを考えると、一般的な特徴のない番号が狙われやすいだろう。4桁の語呂合わせで覚えにくい番号といえそう。最近では自分で番号を選べること(=希望ナンバー)からこだわりの番号を使っている人も少なくないが、特徴のある番号を選ぶことはナンバープレートを盗まれにくくなるということにも効果がありそう。ライトを点けたときにナンバープレートの文字が光る「字光式ナンバー」も有効かもしれない。とはいえ、盗む側の論理は想像を超えるものがあるので、盗難車両に使う目的だけでなく、いやがらせやストーカー行為の一環として盗まれることがあるかもしれないので、対策はしておこう。

ナンバー盗難防止用品は千円前後からという安価で、純正のボルトを外して取り付けるだけという簡単な手順で盗まれにくくなる。但し、接着力が経年により劣化することも考えられるので、早めに交換するとよい。

©CARMATE セキュリティボルト&ベーシック
キャップ LS312

<http://www.carmate.co.jp/products/detail/3145/LS312/?disp=sp> (オープン価格、

実売価格2,000円前後～)

ナンバープレート盗難防止用の、特殊形状ボルト&専用キャップ

②鍵穴壊し

車上ねらいを企図して、ドライバーや針金様のものを鍵穴に差し込んで鍵穴をこじ開けようとする者がいる。手荒にされるので鍵穴が破壊される恐れがある。それをさせないために、「鍵穴シール」というものが販売されているので、見た目での威嚇にもなるため設置するとよいだろう。接着するものであるのではがされるリスクは当然あるが、「面倒だな」と思わせる効果があるといえる。

◎加藤電機 HORNET鍵穴シールKC01

<http://www.kato-denki.com/products/hornet/kc01.html> (本体価格980円)

③ガラス割り

クルマの三角窓を破壊して、カーナビを盗む手口が少なくない。窓ガラスを破壊されないように防犯カーフィルムを活用しよう。車両の種類によってカット済みの物が多種発売されており、車検にも対応している。

カーナビだけでなく、カーオーディオ、車内に放置した貴重品なども狙われる。鍵穴がダメならガラスを割ればいいということなのだ。住宅でも玄関からより窓ガラスを割って侵入する手口が圧倒的に多い。ガラス＝割れる物という理解でいれば、防犯フィルムでガードすることは必然になるだろう。車内に侵入されてしまえばクルマそのものが盗まれることもあるのだ。

◎防犯カーフィルム

セプロアイ 防犯カーフィルム (2枚・税込5,800円)
<http://www.sepro-i.biz/>
 車種に準じてカット済みの商品各種あり。

④タイヤ盗難

タイヤに凝る人も少なくないようだ。しかし、短時間でボルトを外してタイヤを盗むという犯行も起きている。やはり高級な物が狙われやすいだろう。季節柄、スタッドレスタイヤばかり盗まれるという事例も発生している。思い入れのあるタイヤを使っていたり、高額な商品である場合は盗難を予測して、盗難防止ホイールロックナットを取りつけておくとよい。

◎ホイールロックナット

(実売価格20個セット3,000円前後～)

通常の工具では外せない、特殊形状のホイールナット。

⑤カーナビ盗難

カーナビはクルマの窓から車内を見れば一目瞭然で装着されていることが知られる。外国車などの純正品だと数十万円もすることがあり、リサイクルショップやオークションなどでの転売目的で盗む場合もありそうだ。ドアでも窓でも突破されてしまえば、車内の高額品は根こそぎ盗まれると覚悟しておこう。カーナビを盗まれないためには、独特の形状のねじ穴で専用工具以外では勘合しない特殊ねじで取り付けよう。

◎カーナビ盗難防止ロック

STREET Mr. PLUS盗難防止ロック M5 NV-5

http://www.street-automotive.com/mr_plus_nv/ (オープン価格、実売価格2,500円前後～)

⑥車両盗難

クルマの備品関係が盗まれるだけでなく、クルマ本体が盗まれてしまう事件も多発している。完全独立密閉された空間でないかぎり、止めたクルマの車内に侵入して配線をつなげて動かしたり、クルマに器具を引っ掛けてレッカーのようなクルマで牽引したりしてクルマを奪う手口に対してはセキュリティ用品なしではあまりにも無防備だ。

車種、価格、駐車場所、環境などから総合的に勘案して適切な物を選びたい。

◎カーアラーム

- ・ CARMATE ナイトシグナルアラームEX-R SQ80

<http://www.carmate.co.jp/products/detail/3263/SQ80/> (オープン価格、実売価格7,500円前後～)

ダッシュボードに置くだけで正面にLEDが点滅し、クルマに衝撃が加えられると警報を発する。

- ・ YUPITERU Aguilas VE-S37RS

<http://www.yupiteru.co.jp/products/security/aguilas/ve-s37rs/> (オープン価格、実売価格15,000円前後～)

ドアを閉めるだけで警戒開始する自動警戒モード(リモコンで警戒・解除も可能)。異常に応じて威嚇音、衝撃警報(1分間)、ドア開警報(2分間)を鳴らす。

◎タイヤロック

加藤電機 HORNET タイヤロック LT-50R(図3)

http://www.kato-denki.com/products/hornet_lock/lt-50r/index.html (本体価格9,800円、実売価格6,000円前後～)

装着が容易で、目に見える抑止力がある。複製が困難なディンプルキーを使用しているのでピ

ッキングに強い。

◎ハンドルロック

- ・ ニューレイトン エマーソン カーロック EM-119 (図4)

<http://www.newrayton.co.jp/tools/safty.html> (実売価格2,500円前後～)

- ・ To FiT ステアリングロックアラーム II 46-1502リモコン付ハンドルロック

http://www.to-fit.co.jp/slock_alarm_pager2.html (本体価格28,500円)

超音波センサー：車室内への侵入感知。気圧センサー：ドアの開閉、窓ガラス破壊の感知。振動センサー：クルマの振動感知。3つのセンサー機能で異常を感知しクルマに異常が起きた際は、高域警告音を発動、同時に手元のリモコンへアラームで知らせる。(無障害距離1km)

◎ブレーキペダルロック

ブレーキペダルが踏み込めなくなるように頑丈な金属のキーでロックする。(実売価格1,500円前後～)

◎イモビライザー

純正イモビライザーでエンジン始動が出来ないようにするのとリモコン以外ではロック解除時にアラームが鳴るだけでは不安な場合、社外のイモビライザーを設置することでより盗難防止効果を

図3 HORNETタイヤロック LT-50R



写真提供：加藤電機

図4 エマーソン カーロック EM-119



写真提供：ニューレイトン

上げる。(実売価格20,000円前後～)

◎ドライブレコーダー

走行中の録画だけでなく、駐車時のクルマへの被害があった場合も録画をするタイプがある。

・BLW FDR5000-W120-IR-PK

<http://minikara.fu.shopserv.jp/SHOP/FDR5000-W120-IR-PK.html>(税込価格25,800円)

駐車防犯モード付き赤外線ドライブレコーダ

ー

2) 最新の防犯機能・装備、検討される将来技術

どのセキュリティ用品も、純正のセキュリティイモビライザー、アラームだけでなく、いくつかを併用することで時間がかかると予測させ、見た目でもターゲットになりにくくなるだろう。

すでに離れた場所にあるクルマからの情報を携帯電話等の端末で受けることができる、あるいは遠隔操作のシステムが利用されてきているが、こうした機能を積極的に取り入れる人とそうでない人とは、クルマへの犯行を受けた際に差が出ることはだれにでもわかる。クルマを見ただけで装置の有無がわかれば装置のないクルマのほうを選ぶだろうし、犯行時に大音量のアラームが鳴れば犯行をあきらめられるだろうと思われる。しかし、音が鳴ったところでだれにも気づかれにくいような場所に止めてあるクルマならあまり意味はない。装置を破壊されてレッカーで連れ去られてしまえばそれまでだ。となると、GPS装置を搭載することがやがて標準装備になるかもしれない。が、これも取り付け箇所が知られてしまえばまずそれを破壊されるだろう。

セキュリティ機能とそれを破る犯行は常にイタチごっこなのである。また、何らかの本人認証システムを使い、登録した人物以外にはクルマを動かさせないようなセキュリティも登場することも考えられる。とはいえ、個人情報による操作と万一

に備えた解除方法も用意したうえでないと事故時などの対応で困ることもあるかもしれない。

車両価格との兼ね合いとなろうが、クルマという動く固体で人間が出入りするドアがある以上、盗難の危険性はなくなるだろう。

3. 防犯対策を実践するうえで

1) 自動車ねらいの実例とケーススタディー

標準装備としてイモビライザーやアラームが搭載されている車種も増えているが、そのほかにも市販されている防犯グッズやセキュリティ用品を使うことで、より安全になることは確実である。目に見える装置は車上ねらい、車両窃盗を企図する者に対して威嚇になる。だが、どんな装置も所詮は機械であり、人が操作するものなので油断は禁物だ。

実際に犯罪被害に遭ったときの喪失感、自分の尊厳を傷つけられた気分というのは経験のある人にしかわからないものだが、少しでも想像できれば被害に遭わないように努力すべきだ。以下に自動車ねらいの被害の事例と、同様の犯罪についての対策例を挙げる。

【事例1】 夏のある日、家族で買い物に出かけたAさんは、広い駐車場の中で空いていた場所にクルマを止めた。車内が暑くなっているのがいやで、少しだけ窓を開けていた。クルマに戻ったときにはドアが開いており、中に置いていたブランドバッグとコンソールボックスに入れていた現金等が盗まれていた。車上ねらいにあったのだ。

→少しだけ開いた窓から針金状のものを差し込んでドアを開けられていた。隣のスペースには車高の高いワンボックスカーが止められていたため、犯行が見とがめられにくかったのだろう。

対策：車内に貴重品を残してはいけない。カバンや上着など、何かありそうだと思うようなものは車上ねらいのターゲットとして狙われやすい

原因となる。

【事例2】 自宅近くの月ぎめ駐車場にマイカーを止めていたBさんは、休み明けにクルマに乗ろうとして前後のナンバープレートがなくなっていることに気づいた。いつ被害に遭ったかわからなかった。

→防犯カメラは設置されておらず、照明も当たらない位置だった。

対策：ナンバープレート盗難防止ボルトを使う。駐車場は防犯カメラが設置されているところを選ぶ。

【事例3】 高級外車に乗っているCさんは信号で停車したとたん、後ろから追突された。信号を越えたところで話し合いをしようとクルマを止めて出たが、ぶつかったクルマの運転者と話をしている隙にどこからか現れた人物がCさんのクルマに乗り込んでそのまま走り去って行った。Cさんがあわてている間にぶつかったクルマの運転者もまた走り去った。

→いわゆる「ごつつん盗」に遭ったのだ。ぶつけた人物と乗り逃げた人物は共犯である可能性が高い。

対策：高級車両は被害に遭いやすいので警戒心を持つ。クルマを離れる際は、必ずクルマの鍵を抜いて持つておくこと。スマホ等で相手やクルマの写真を撮ったり、会話を録音したりして事後対応に備える。

【事例4】 クルマ好きのDさんは、アルミ製のホイールとかなり高級なタイヤを使っていた。自宅近くの駐車場に止めていたが、ある日、ホイールごとタイヤもなくなっていた。

→駐車場に防犯カメラはなかった。他に止まっているクルマは軽自動車が多く、Dさんのクルマは目立っていた。

対策：複数のクルマが止まる駐車場では周囲のクルマと差があると目立つ。駐車場の防犯体制と自分のクルマの価値に対してタイヤロックなどのセキュリティ用品を活用すべきだった。

【事例5】 Eさんは自宅の敷地内にある駐車スペース

に止めていたクルマが朝見るとなくなっていた。盗難被害が多いという車種だった。道路との間には仕切りがなかった。

→駐車スペースのすぐ近くが寝室なので何かあったらすぐにわかるだろうと思って、防犯グッズは使っていなかった。

対策：車両盗難の被害に遭いやすい車種について事前にネット等で情報を得ておく。道路の間にはゲート等を必ず設ける。熟睡すると気配もわからないので、盗難防止アラーム等を設置する。

【事例6】 音楽好きのFさんは自慢のカーオーディオを搭載して、カーナビも高級なものを使っていた。友人宅に泊まることになり、禁止されていないので路上駐車していたが、翌日、カーナビとオーディオが盗まれていた。

→三角窓を破られていた。夜間は人通り、クルマ通りがほとんどない地域だった。

対策：窓には防犯フィルムを貼る。盗難防止アラーム、カーナビ盗難防止ロック等を利用すべきだった。

【事例7】 会社のクルマで営業に回っていたGさんは、取引先の会社の前でクルマを止めて商品を納入していた。用を終えて戻ったところ、クルマがなくなっていた。

→短時間だからと鍵をつけたままだった。人通りもクルマ通りもあるからと油断していた。人通りがあってもだれもクルマの持主はわからないし、乗り込む人が泥棒かなど気にしてはいない。

対策：クルマを離れる際は必ず鍵を持つて出ること。

2) 日常生活の中での心がまえ

クルマは高額商品、貴重品である。ゆえに盗まれやすい。車両価格の1/100以上のセキュリティ用品を装備すべきだ。100万円なら1万円、300万円なら3万円となる。自分だけは大丈夫という根拠のない自信は持たず、しっかり対策をして安全に根拠を持とう。

鍵がついたままのクルマを盗むのに時間はかからない。わずかな時間であっても、鍵をつけたままクルマを放置することは「どうぞ持って行ってください」と言っているようなものだという認識を持つべきだ。また、鍵がかかるからといって「クルマは金庫ではない」のだ。現金や貴重品は一切車内に残さず、車上ねらいの被害を避けよう。

近隣の被害状況を把握して相応の対策をするほか、情報をスマホ等へ送る機能が搭載されたセキュリティ用品が次々として出てきているので、常時クルマのそばにすることはできないのだから、遠隔操作でクルマの安全を確かめることも考えるとよい。

昨今はストーカー被害が多発しているが、持ち主の知らない間にGPS機能のついた機器等を取りつけて行動を監視するようなケースも発生している。クルマの本来の状態を知ったうえで異常にすぐに気づくように、乗車前の車両点検を習慣づけよう。不審な機器を取り付けられていないか、車体の下などをチェックする際には点検鏡を利用するとよい。これはアナログな手段だが確実だ。

◎シンワ測定 点検鏡D 楕円型 50×80mm ライト付 74157 (図5)

http://www.shinwasokutei.co.jp/japanese/content/products/Pro_list/Catalog/catalog.html (実売価格2,000円前後～)

衝突事故や人身事故などの交通事故時に証拠となり得る映像を残すためにドライブレコーダーは必須といえよう。さらにICレコーダーやデジカメ、それらと同等の役割を果たすスマホ等で、相手との会話を録音したり、現場の写真を撮ったりするように日ごろから意識しておこう。今どきはこうした便利なツールが身近にあり、自在に使えるのだから、自己防衛策として活用すべきだ。ストーカーによる迷惑行為も通報しよう。証拠は保全して撮影もしておく。

また事故などの場面では詐欺ということも考えられる。「示談で」などと言われてあいまいなままにしてしまうと後にもっと困難な事態を招くかもしれないので、必ず警察に連絡をすることだ。

防犯対策は何のためにするのか？ 被害に遭いにくくし、遭っても被害を最小限にとどめるためだ。さらに、「後悔しないため」と覚えておこう。被害に遭った後で、「ああすればよかった」「こうもしておけばよかった」と後悔するなら、できることは何でもしておいたほうがよい。

(さえき ゆきこ)

図5 点検鏡D 楕円型



写真提供：シンワ測定

クルマの 楽しさ、 素晴らしさ とは

連載



こだわりの“クルマ本”が並ぶ「クルマ・バイクコーナー」

“クルマのライフスタイル”を提案する、代官山 蔦屋書店「クルマ・バイクコーナー」

[JAMAGAZINE編集室]

[第65回]

代官山 蔦屋書店は、専門性の高い、独自の品揃えで知られている“こだわりの本の店”である。6つの専門コーナーでは、それぞれ専門の担当者・コンシェルジュが、その個性を生かした品揃え、売り場のコーディネートを行っている。そして何より、クルマ好きにとっては伝説的ともいえる、クルマ・バイク専門書コーナーが存在している。同店のコンセプトは「ライフスタイルを提案する」こと。商品だけではなく、それぞれの分野のいろいろな楽しみ、世界観を見せてくれる。

●代官山T-SITE

2011年12月にオープンした「代官山T-SITE」。その中心となる「代官山蔦屋書店」は、1号館から3号館まで各館の1階が書店となっており、「アート」「旅行」「建築・デザイン」「料理」「人文」そして「クルマ・バイク」と6つの専門コーナーが設けられ、それぞれが一軒の専門書店として成立するほどの、こだわりと充実ぶりである。

この「代官山T-SITE」は、CD/DVDレンタルのTSUTAYAを運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（以下、CCC）が代官山に展開するプロジェクトの一環として、オープンしたもの。これは、同社が“プレミアムエイジ”と呼ぶ50代以上を対象とした、文化とコミュニケーションをテーマにしたプロジェクトである。同社の創業当時のコンセプトである「本、映画、音楽を通してライフスタイルを提案する」というテーマを、今の若者が集まる代官山という場所で、書店を中心に展開する「ライフスタイル提案型商業施設」ということだ。

2号館にある「クルマ・バイクコーナ

ー」は、まず入口から店内を見るだけでも、余裕のある店内空間、目に訴えかけてくるディスプレイなど、一般の書店とは印象が大きく異なっている。同コーナーのシニア・コンシェルジュ、伊藤辰徳（いとう たつのり）さんにお話を伺った。

●コーナー誕生の経緯

「このコーナーの母体となったのは、世田谷の環八沿いにあった『リンドバーグ』という、クルマ・バイクの専門書店です。1985年にオープンした店ですが、2011年に蔦屋書店がオープンする際に、いわば丸ごと移転する形で、クルマ・バイクコーナーを開設したんです」

リンドバーグ代表の藤井孝雄氏は、以前はバイクのカスタムショップを営んでいた。同氏が仕事の資料として集めていたさまざまな本を、どうしても売ってほしいというお客様が多かったことから、専門書店・リンドバーグが誕生したということである。そして同店は、クルマ・バイク好きの間では、通常手に入らないような希少な本も「あ

そこに行けば揃っている」と話題になるほどの、伝説の店となっていたのだ。伊藤さん自身も、もともとリンドバーグのスタッフであった。

「店は、駅から近いわけでもなかったのですが、環八沿いだったこともあって、“クルマ好きがクルマで集まる店”になっていましたね」

そんなリンドバーグが、ここ代官山に居を移すことになった経緯とは。

「CCCのプロジェクトの中で、大人のための生活提案として“大人は何を楽しむか”ということを考えた際に、旅行や建築などといったテーマとともに、クルマというカテゴリーが求められました。そこで、リンドバーグに着目していたCCCの代表が、藤井氏に同プロジェクトへの参加を打診して、



コンシェルジュの伊藤さん

このコーナーが生まれることになりました」

●「そのクルマのすべてがわかる」

店内を見て回ると、まず気がつくのは、本の並び、コーナーの構成が個性的であることだ。書棚は「国産車」「イタリア車」「アメリカ車」といった国別の分類がなされ、その中でメーカーごと、さらに車種ごとに区切って並べられている。各コーナー内では、和書、洋書、写真集、雑誌、書籍と、関連する本が種類を問わず並べられている。なかには整備書、DVD、ミニカーなども置かれている。

「こうした分類方法も、リンドバーグ時代から受け継いでいるものです。例えばフェラーリのコーナーなら、“そこへ行けばフェラーリのすべてがわかる”というのがコンセプトです。本の種類にこだわらず、DVDなど関連商品まで、1カ所に揃えています。普通の書店なら、本の種類ごとに売り場が違って、お客様があちこち歩くことになってしまう。それはいけないと思っています。フェラーリに乗って来られるお客様は、フェラーリのことが見たいでしょうから」

専門書店時代から受け継いだ、ある車種、あるジャンルの世界観を全部まとめて展示するというコンセプト。これはマニア向けのみならず、それ以外の人たちにも、興味を持つきっかけをつかみやすい方法でもあるだろう。

「いわゆる旧車（70～80年代中心の国産車）のカタログや、外車の整備書なんかも置いてあります。普通の書店では売らない、というか売れないで

すよね（笑）。ただ僕らとしては、どこでも売っているものではなく、僕らでしか手に入れないものを売りたい、という気持ちがあります。例えばDVDも、海外のメーカーから直接買いつけて、当店でしか置いていないものもあります。コンシェルジュがそれぞれ会社を探し、連絡を取り、取引を行っています。おかげで取引先の数が増えて困っていますけど（笑）」

なるほど、マニアもうなるほどの品揃えは、こうしたコンシェルジュの仕事によって実現しているのだ。

●コンシェルジュのお仕事

また、商品のラインナップ以外でも、店内のディスプレイは実に個性的だ。取材に伺った1月下旬では、レジカウンター前の特設コーナーで、雑誌「モーターファン・イラストレーテッド」の100号を記念した展示企画を行っていた。大きなショーケースには、非売品の貴重な原画パネルなども展示されている。こうした特集展示も、コンシェルジュの企画であるとのこと。

「書店員としての仕事はもちろんですが、展示の企画、イベントの運営も行っています。これまでの企画展示としては、クルマをテーマにした油絵を展示したアート展や、ビンテージカーやグッズを扱う雑誌を特集したフェアなどがありました。アート展では、草むらの中の古いクルマを描いた作品の世界観を表現するために、絵と一緒に、エンジンなどのパーツや本物の植物などをディスプレイしました。ビンテージフェアでは、雑誌に載って

いるクルマやバイク以外のビンテージ品（時計、カメラなど）も集めて、雑誌と一緒に展示しました。扱うテーマの世界観を、全部まとめて展示する、という狙いです」

また、他の売り場と協力した、コラボレーション企画も行っている。

「『CARS AND FILMS』という、映画に出てくるクルマ・バイクをモチーフにしたポスター商品があるのですが、映画フロアのスタッフと協力して、ポスターを展示するとともに、『ゴーストバスターズ』『バック・トゥ・ザ・フューチャー』など映画のDVD、CDの展示と上映を行いました。この企画も、たまたまポスターがあって、『どうせなら、映画スタッフと一緒にやってみたらおもしろいんじゃないか』というところから始まったものです。いろいろな切り口から、クルマを好きになってもらいたい、という気持ちでやっています」

●お客様と一緒にイベントを

同コーナーでは、お客様も参加できるイベントも多数行っているという。

「定期的なものとしては、毎月第二日曜日に『モーニングクルーズ』というイベントを開催しています。2015年の1月で29回目になりました」

このイベントは、毎回のテーマに沿ったクルマが、朝7時から9時までの2時間、同店の駐車場に集まるというもの。そこで何かをする、と決まっているわけではなく、集まった人たち同士でクルマのことを話したりして、時間が来たら解散、なのだという。



本だけでなく、DVDやキーホルダーも



店頭の特別展示コーナー



国産車コーナーも、メーカー別に分類



上の棚までクルマ本がずらり

「僕らは場を提供しているだけです
が、参加者同士で自然とコミュニケーションが生まれるんです。このイベントに関しては、僕らは“何もしないことに価値がある”と思っています。こういったファンミーティング的なイベントは他にもありますが、都心の、代官山という場所では、これまで開かれていませんでした。『僕らもクルマ好きだし、クルマ好きが集まるイベント、やってみよう』というところから始まったんです」

これまで、“トヨタ2000GT限定”“12気筒エンジン限定”“青いクルマ限定”など、さまざまなテーマで開催してきたという。もともとはフェイスブックだけで告知を行っていたため、最初は20台くらいしか集まらなかった。それが参加者の口コミで徐々に広がって、今では駐車場に入りきれないほど、時には200台近くのクルマが集まってくれるまでに拡大した。

「次のテーマをどうしようかと、お客様と話し合ったりもします。クルマ好きが、クルマ好きのための場を作りたい、という思いでやっているイベントなんです。

イベントの企画も、売り場の展示も、お客様に楽しんでもらいたい、という目線でやっています。自分たちが行っているのは、“カーライフの提案”です。イベントも企画も、売り場のディスプレイまで、そのテーマの世界観をトータルにコーディネートするのが仕事です。」

●若い世代に対しても

ところで、代官山という場所柄か、



注目商品のかずかず

他の売り場を見ていると、若い世代のお客様が多いと感じられた。クルマコーナーとしては、そうした若い人たちに向けて、何かしらのアクションを考えているのだろうか。

「特に考えることはありません。お客様層としては、比較的若い人も多く、30～40代の方が中心です。もともとのコンセプトとしては、50代以上の大人向けにライフスタイルを提案しているのですが、若い人たちもそれがかっこいいと思ってくれた、ということではないかと思います。クルマに限らず、上の年代の人間がかっこいいと思わなければ、若い人たちはついてこないと思うんです。例えば、今の若い人たちに向けて“今風のかっこいいカーライフ”というものを考えて提案したとしても、それだけではかっこいいと思ってくれないでしょう。まず、自分たちがかっこいいと思わなければいけない、と思います。

クルマの楽しさには、所有する、動かす、愛でる、直す・いじる…と、いろいろなものがあります。『カーライフを提案する』と一口に言っても、新車に魅力を感じる人、ビンテージカーが好きの人、メーカーや車種にこだわる人、いろいろなクルマライフの世界があると思います。生活提案というコンセプトの中で、それぞれの世界観をまとめて表現したいと思っています」

●イチオシの商品を紹介

ここで、同コーナーの注目商品をいくつか紹介していただいた。世界中の名車のオークション価格を掲載した



旧車のカタログコーナーもある

「CLASSIC CAR AUCTION YEARBOOK 2013-2014」や、カーコレクターで有名なラルフ・ローレン所有のクルマを掲載した「SPEED, STYLE, AND BEAUTY」は、クルマ好きなら写真を見るだけで楽しめる人気の商品。日本車では、やはり70～80年代の旧車関連商品が人気とのことである。

ちなみに、ご自身も大のクルマ好きである伊藤さん、愛車は1999年式のアルファロメオ156 (V6)。「日本のクルマにも、もっと尖ったデザインや性能を持った“夢が見られる”クルマの登場を待っています」とのことだ。

これからの展示企画としては、2月20日(金)より「英国車フェア」を開催するとのことである。クルマへのこだわりにあふれ、いろいろな世界観を見せてくれるこのコーナー。足を運んでみれば、自分に合ったクルマ・ライフスタイルを見つける、そのきっかけになるかもしれない。

●代官山 蔦屋書店

〒150-0033 東京都渋谷区
猿楽町17-5

営業時間：7:00～26:00 (1F)
／9:00～26:00 (2F)

定休日：無休

TEL：03-3770-2525

●公式ウェブサイト

URL：http://tsite.jp/daikanyama/
store-service/tsutaya.html

(JAMAGAZINE編集室)

消費増税の影響とは？



湯地 正裕
朝日新聞社

◇自動車業界を担当して1年余りが経った。この数ヶ月の間、記者会見などの取材の場で、だれかが必ず質問するテーマが「消費税による影響」だった。ご存じのように、増税以来、国内での新車の販売が変調しているのは明らかだ。とはいえ、自動車メーカーのトップ、販売現場の方、業界団体の方、もしかしたら100回近くその質疑応答のやりとりを聞いてきたと思うが、はっきり言って「増税後になぜ車が売れていないのか」という、この根本の理由を、明確に回答してくれたやりとりに出くわしたことがない。どの理由もなんだかぼんやりとして、なんともわかりづらかった。

◇単に「駆け込み需要」の反動のせいなのか？ それとも増税で消費マインドそのものが冷え込んでいるのか？ 前回の増税のときよりも、「クルマ離れ」が進んでいたため影響が大きくみえている自動車業界独特の問題なのか？ それともこれが正常な状態？ 複合的な要因がからみあって、いまの状況を生み出しているのかもしれない。1千万円以上の「高級輸入車」と「軽自動車」が相変わらずよく売れているのをとらえて、マスコミでは「二極化」なんて言い方をするようになった。

◇すこし話しがそれるが、民主党政権が消費増税をきめたとき、私はちょうど財務省を担当していた。財務省のなかで官僚と日々接していると、「増税やむなし」という論理に染まってしま

う。それでも、当時私が気になっていたのは世論の反応だ。当然反対が大勢を占めるのだろうと思いきや、世論調査をみると意外と「増税は仕方ない」と賛成する人の割合が多かったのだ。増税の前に行革などやるべきことの注文はつけつつも、「老後の年金など社会保障制度を維持させるためなら」と、覚悟を感じさせる反応だったのだ。

◇増税の流れを引き継いだ安倍政権は、新車の落ち込みに代表されるような景気低迷の理由を説明できないまま、税率10%への再増税を延期してしまった。これが今の日本経済のありのままの実力の姿のような気がするし、正解かはよくわからない。もし、私が車の販売店で働いていたら、きっと成績の悪い自分だけに、今年はなんとかやり過ごせると、胸をなで下ろしていたかもしれない。でも、いずれにしても再増税のときはくる。当初の予定通りに実施したほうが、結果的には2回分の影響を小さく抑えられたかもしれない。本来、増税で「将来への不安が」がなくなれば、長期的にはみんな安心して財布のひもも緩む、なんて指摘もある。とりとめなく書いてしまったが、なんでも増税のせいにして、本当は浮き彫りになっていることを見逃しているのでは、という気がしてならない。

(ゆち まさひろ)

2014年第3四半期および同年累計海外生産統計

2015年1月30日

2014年第3四半期の海外生産台数は、欧州・大洋州地域を除く全地域において現地生産が増加したことから、前年同期比105.9%の4,269,865台となった。

2014年1～9月は、大洋州地域を除く全地域において現地生産が増加したことから、前年同期比105.0%の12,980,730台となった。

■ 2014年第3四半期実績

(単位：台)

	2014年7-9月	2013年7-9月	前年同期比 (%)
アジア	2,242,019	2,169,422	103.3%
中近東	218	0	—
欧州	346,399	386,037	89.7%
EU	286,886	329,655	87.0%
北米	1,173,680	1,074,805	109.2%
米国	921,793	862,585	106.9%
中南米	421,746	325,286	129.7%
アフリカ	59,505	45,456	130.9%
大洋州	26,298	31,767	82.8%
合計	4,269,865	4,032,773	105.9%

■ 2014年1～9月実績

(単位：台)

	2014年1-9月	2013年1-9月	前年同期比 (%)
アジア	6,763,633	6,613,710	102.3%
中近東	306	0	—
欧州	1,220,835	1,107,830	110.2%
EU	1,033,606	1,013,879	101.9%
北米	3,587,445	3,415,939	105.0%
米国	2,862,088	2,738,825	104.5%
中南米	1,158,578	980,206	118.2%
アフリカ	184,392	169,441	108.8%
大洋州	65,541	80,994	80.9%
合計	12,980,730	12,368,120	105.0%

あなたとバイクの感動のストーリー (BIKE LOVE STORY) 受賞作紹介



一般社団法人 日本自動車工業会 (以下、自工会) は、バイクの楽しさ、有用性、人生との関わり合いなど二輪車の素晴らしさを広く知って頂くことで、社会に愛される二輪車の構築を目指しており、その一環として2014年9月にバイクにまつわる感動のストーリーを募集しました。(応募総数 171 作品) 本誌では、受賞 4 作品を毎月 1 作品ずつ紹介させていただきます。その他受賞作は自工会 HP (<http://www.jama.or.jp/motorcycle/bls/2014/>) で読むことができます。

優秀賞 作品タイトル 「はじまりは、いつもバイクから」

水品 誠一郎 さん

人生の転機には、いつもバイクがあった。

東京は下町の親元を離れて、一人暮らしがはじまったのが1979年、22歳の4月。筑波山のふもと、だだっぴろいキャンパスの外にアパートを借りた。近くにスーパーはない。自転車屋があるだけ。足は中学生のときから乗っている自転車。キャンパス奥の研究棟まで晴れた日には、気持ちよく30分。しかし、急ぐと汗が出て息苦しい。雨が降ったらバス。田舎のバスは何時来るともわからない。

やっぱり車の免許が要るのかな？

下町育ちだから、車は不要と信じていた。だから免許はない。道路は遊び場所と心得ていたから、そんな子供たちの跳梁する街で、車の運転なんかしたくもない。ところが田舎に来てしまった。銀行のある土浦まで自転車でいったら二時間かかった。

やっぱり車の免許を取るか？

授業に出てみたら一日に二本のレポートが課せられた。こりゃ教習所に行く時間がない。そして老自転車がついにダウン。自転車屋に行ってみるとバイクが並んでいる。出前持ちのバイクやら、ダックスフンドのような足の短いバイク、おもちゃのようなバイク、そして普通のバイク。みんな原付バイクと言うらしい。店の親父に聞くと、原付バイクは警察で試験を受ければ免許をくれるという。

そうだ、バイクの免許を取ろう。

試験はお手のものである。すぐに免許をくれたので、ダックスフンドを買おうとしたら、店の親父から東京まで帰るのならこっちが良い、と普通のバイク：ロードタイプを薦められた。50CC、4ストローク、5段変速の本格的な原付バイクであった。

で、どうやって乗るんだ？

次の日の早朝、取説をポケットに、軍手をはめて、実家の親父からもらったヘルメットをかぶり、意気揚揚口笛吹いて乗り出した。キックスタートに30分。息も絶え絶えである。汗が目にも沁みしてきた。ようやくエンジンがかかった、と思ったら、ギアシフトに失敗してエンスト。これをまた30分ほど繰り返す。エンジン音が大きい。田舎だから余計に響く。散歩しているお年寄りが不信そうに見つめている。心臓がバクバクしている。こりゃダメかも。その日はあきらめた。まだニワトリが鳴いている時間だった。

夕方に、自転車屋のメカニックのお兄さんから手ほどきを受けた。

面白いように走る走る走る。

翌朝も早朝から引っ張り出す。キック一発スタートできた。暗いうちに研究棟まで10分で行けた。これは楽だ。帰りは思い切って大通りへ出てみた。車がビュンビュン走っている。乗り出せない。後ろから女の子の車が怖い顔をして煽っている。右折ができない。本気で命からがら、遠回りしてアパートにたどり着いた。寝る前にありったけの神様仏様に感謝した。こんな日が何日も続いた。

この原付バイクのおかげで気持ちが広がった。騎乗の坂東武者の気分である。

将門を気取って、筑波山には何度も行った。さすがに50cc だから、晴れた日の気分の良さとは反比例に、上り坂は息苦しい。馬上天下を取るのも楽じゃない。

夏には山林の中を蝉時雨ならぬ蝉雷雨を聞きながら汗を飛ばす。秋は紅葉のシャワーを浴びて筑波山に登る。冬はパス。春が来れば花の香りと養豚場の香りがブレンドされて押し寄せてくる。梅雨にはカップを着ても、桶狭間の信長になった気分。

また夏が来て、就職が内定した。もはや怖いモノは論文だけだ。

夜の走行が多くなった。田舎の秋から冬の夜空にはぎやかだ。キャンパスの芝生の上で夜露が降るまで、星を見ながら論文の想を練って、明け方に帰る。バイクがなければできない芸当だ。

夜明けに乗り出してはじめたバイクが、いつのまにか夜明けに帰る足になった。夜明けの空は変わらなくきれいだ。ニワトリも相変わらず鳴いている。

実家に戻って都会勤務になるので、置き場所のないバイクはあきらめた。
いつかは、今度は本物のバイクに乗ってやろう。

それから30年近く経ってしまった。

51歳の春、2008年4月に長野県の関係会社に出向、単身赴任となった。もはや都会に帰っての勤務はないだろうと、ふて腐れて、覚悟を決めた。

そうだ、今度こそバイクに乗ろう！

原付免許は失効している。伊那谷の自動車学校に、3月31日、赴任のその日に入校手続きをした。勇気凛々受付に臨んだら、係りのおばちゃんが説得し始めた。

「悪い事は言わないから、その歳で二輪は無理です。四輪の免許にしときなさい」

「申し訳ないけど、生活のための免許じゃなくて、楽しむための免許だから、二輪じゃなくっちゃ意味がない」

押し問答が続いたが、二輪で押し切った。家族には話していない。

はじめてのセルモータ、ひさびさのクラッチ、CB400のエンジンのにおい、おなかに響くエキゾースト、ギアチェンジの楽しさ、忘れていた走りの快感がよみがえった。

単身赴任のアパートに戻り、シャワーを浴びると震えがきた。武者震いである。

教習所はもちろん学科から始めた。二輪での学科教習生は一人だけ。みんな怪訝な目で見ている。なにしろ冬場はマイナス10℃以下になるところだ。

教官が相変わらず四輪への転向を薦めてくる。「悪いことは言わないから…」

実技教習の同期には部下の新入社員がいた。次の日には会社中に知れ渡った。

「役員ともあろう人がバイクの教習ですか」とOBの爺さん。

ひとの気も知らないで、余計なお世話だ。

一本橋が鬼門だった。肩に力が入っているのがわかる。しかし、気持ちと筋肉とが連動していない。何度も落ちた。後ろを見ると、大型免許を受講している小柄な女性がゆくりと優雅に一本橋を超えていく。送迎バスを運転している教官がつぶやいた、

「あなたより少し年上の方が二輪にトライしたけど、とうとうあきらめましたっけ」

信州の遅い桜を散らすように、卒検の日は大雨。休暇を取っての一発勝負だ。雨が居直りをもたらし、ゆっくりゆっくり「かーごかごかごが…落ちないように…」。鼻歌が功を奏してクリアできた。万歳、しかし油断大敵。そしてフィニッシュ。

「ずいぶん慎重でしたね。まあ、合格です」

幕張の運転免許センターでの試験は余裕しゃくしゃく。普通自動二輪免許取得後、その足で自宅近所のバイク屋へ直行。雑誌で気に入った、実機を見て二度惚れしていた、223cc デュアルパーパスを購入。

気持ちはもう信州の野山とあぜ道へ、元気一杯タッタカタ。

そして納車の日も雨。家内には、水戸黄門の印籠よろしく免許を見せて、

「バイク買っちゃった」、しばし沈黙、そしてため息、「なんでクルマにしなかったのよ？」

(心の中では「アッシーになってたまるか」) 51歳の抵抗だ。

「お小遣いで買ってよ」、「誰が稼いでいるんだ」「ローンを組んだよ」

翌日は千葉から伊那谷へ、相棒と凱旋走行だ。

4時起きで、京葉道路から神田・市ヶ谷を過ぎ、ここで道に迷った。5時過ぎの赤坂御用地あたりを単気筒のエンジン音響かせて静寂を破り、眠そうに立っているお巡りさんににらまれて、四谷に戻り、新宿から甲州街道へ。中央道はおっかないから下道で行こう。

相模湖の下り坂では自転車に抜かれ、笹子トンネルではトラックに追いかけられ、足が震えた。甲府盆地に向かう下り坂で、年季の入ったオフ車に乗ったライダーに止められた。道端に寄れというサインだ。なんかへましたっけ？

「あのね、原付じゃないんだから、そう左に寄ることないよ。後ろから見ているとおっかなびっくり乗っているね。もっと車線の真中を走ってもいいんだよ。そのほうが安全だし、後ろの車も安心して運転できる」

そうだった。騎乗の坂東武者はもっと胸をはって堂々乗ればいいんだ。

甲府バイパスの車線の真中を走っていると、バックミラー越しに、きれいな五月晴れをしたがえ、白雪を残した富士山がくっきりと写っていた。胸を張って伊那谷に入った。

人生の転機、第二の会社人生のはじまりも、バイクからだった。

そして、56歳の春、2013年4月に、今度は退職金をもらって、群馬県の会社へ転籍となった。6年間で10,500Km 走った相棒から、400cc のクロスオーバーに乗り換えた。

春霞にゆらぎ、笑っているような赤城の山が出迎えてくれた。

人生の転機、第三の会社人生のはじまりも、またバイクからだ。

国土交通省 “平成 27 年度「道路ふれあい月間」推進標語の募集について”

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等各種活動を特に推進していますが、この一環として、平成27年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集します。

道路は、国民の日常生活や経済活動に欠くことのできない基本的な施設ですが、あまりにも身近な存在であるため、その役割や重要性が見過ごされがちです。

そこで、この推進標語の募集を通じて、道路の役割や重要性を改めて認識していただくことを目的としています。

◇募集テーマ◇

道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、子孫に受け継いでいきましょう。

◇応募資格◇

小学生以上の方から応募できます。

◇応募期間◇

平成27年3月31日（火）まで（当日必着）

◇応募部門・賞◇

〔小学生の部〕最優秀賞1作品、優秀賞2作品

〔中学生の部〕最優秀賞1作品、優秀賞2作品

〔一般の部（高校生以上）〕最優秀賞1作品、優秀賞2作品

◇応募方法◇

1人何作品でも応募できます。

●はがきによる応募の場合

はがきに、標語と必要事項〔氏名とフリガナ、住所、電話番号、性別、年齢、応募部門の別〕及びアンケート（何を見て応募したのか（回答は任意です））を記載のうえ、郵送してください。

（郵送先）〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

国土交通省道路局道路交通管理課 標語担当あて

●電子メールによる応募の場合

1. メール本文に、標語と必要事項〔氏名、住所、電話番号、性別、年齢、応募部門の別〕及びアンケート（何を見て応募したのか（回答は任意です））を記載のうえ、fureaigekkan-h2x5@mlit.go.jp に送信してください。

※上記アドレスからの受信ができるように設定してください。

2. 国土交通省ホームページの応募様式に記入の上、電子メールに添付して応募することもできます。

※ Microsoft Office Excel97以降のソフトが使用できる環境にあること。

●小学校・中学校単位での応募の場合（学年・クラス単位含む）

1. 作品をとりまとめのうえ、封書にて郵送してください。学校名及び学校所在地での応募が可能です。
2. 国土交通省ホームページの応募様式に記入の上、電子メールに添付して応募することもできます。

※ Microsoft Office Excel97以降のソフトが使用できる環境にあること。

※ その他のファイル（Word、一太郎など）でも受け付けます。

◇入賞作品の発表・使用◇

入賞作品は決定次第、ご本人に直接通知するとともに、国土交通省ホームページ等で発表し、「道路ふれあい月間」の推進に幅広く活用させていただきます。

◇表彰◇

「道路ふれあい月間」期間中に国土交通省から賞状及び楯を贈呈いたします。

◇その他◇

- ・ 応募作品の返却は致しません。
- ・ 入賞作品の著作権は主催者に帰属します。

◇主催◇

国土交通省

◇国土交通省ホームページ（本発表内容の掲載URL）

http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000463.html

◇お問い合わせ先◇

国土交通省道路局道路交通管理課

総務係 岩谷、五野井

（代表）03-5253-8111

（内線）37423、37424

（mail）fureaigekkan-h2x5@mlit.go.jp

ホームページ Homepageのご案内

自工会インターネットホームページ [info DRIVE]

<http://www.jama.or.jp/>



●自工会会員各社のホームページアドレス

いすゞ自動車(株)	http://www.isuzu.co.jp/	富士重工業(株)	http://www.fhi.co.jp/
川崎重工業(株)	http://www.khi.co.jp/	本田技研工業(株)	http://www.honda.co.jp/
スズキ(株)	http://www.suzuki.co.jp/	マツダ(株)	http://www.mazda.co.jp/
ダイハツ工業(株)	http://www.daihatsu.co.jp/	三菱自動車工業(株)	http://www.mitsubishi-motors.co.jp/
トヨタ自動車(株)	http://www.toyota.co.jp/	三菱ふそうトラック・バス(株)	http://www.mitsubishi-fuso.com/
日産自動車(株)	http://www.nissan.co.jp/	ヤマハ発動機(株)	http://global.yamaha-motor.com/jp/
日野自動車(株)	http://www.hino.co.jp/	UDトラック(株)	http://www.udtrucks.co.jp/

●自工会会友のホームページアドレス

ゼネラルモーターズ・ジャパン(株) <http://www.gm japan.co.jp/>

●主な自動車関係団体のホームページアドレス

一般社団法人 日本自動車部品工業会	http://www.japia.or.jp/	一般社団法人 自動車再資源化協力機構	http://www.jarp.org/
一般社団法人 日本自動車車体工業会	http://www.jabia.or.jp/	一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会	http://www.jaspa.or.jp/
一般社団法人 日本自動車機械器具工業会	http://www.jamta.com	一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会	http://www.mfj.or.jp/
公益社団法人 自動車技術会	http://www.jsae.or.jp/	一般社団法人 全国レンタカー協会	http://www.rentacar.or.jp/
一般財団法人 日本自動車研究所	http://www.jari.or.jp/	自動車基準認証国際化研究センター	http://www.jasic.org/
一般財団法人 日本自動車研究所 JNXセンター	http://www.jnx.ne.jp/	一般社団法人 日本中古自動車販売協会連合会	http://www.jucda.or.jp/
一般社団法人 日本自動車販売協会連合会	http://www.jada.or.jp/	公益社団法人 全日本トラック協会	http://www.disco-koeki.org/
一般社団法人 全国軽自動車協会連合会	http://www.zenkeijikyoo.or.jp/	一般社団法人 全国自家用自動車協会	http://www.disco-koeki.org/
一般社団法人 日本自動車会議所	http://www.aba-j.or.jp/	一般社団法人 日本自動車リース協会連合会	http://www.jalanet.jp/
一般社団法人 日本自動車連盟	http://www.jaf.or.jp/	公益社団法人 日本バス協会	http://www.bus.or.jp/
日本自動車輸入組合	http://www.jaia-jp.org/	公益社団法人 全国通運連盟	http://www.t-renmei.or.jp/
一般社団法人 自動車公正取引協議会	http://www.aftc.or.jp/	一般社団法人 日本自動車タイヤ協会	http://www.jatma.or.jp/
一般社団法人 日本二輪車普及安全協会	http://www.jmpsa.or.jp/	一般社団法人 自動車用品小売業協会	http://apara.jp/
公益財団法人 日本自動車教育振興財団	http://www.jaef.or.jp/	自動車税制改革フォーラム	http://www.motorlife.jp/
公益財団法人 自動車製造物責任相談センター	http://www.adr.or.jp/		
公益財団法人 自動車リサイクル促進センター	http://www.jarc.or.jp/		

編集後記 Editor's Notes

◇友人から家族が増えるのでクルマの乗り換えについて相談を受けた。後日、友人と共に輸入車、国内メーカーと数社の販売店でそれぞれのセールスポイントを聞き、試乗をこなし、長所短所を纏めた一覧表まで作成した。

◇数日後、この友人は、私の予想に反し、これまでと違うクルマとの新しい生活を想像し、選ぶ楽しさを語り始めたのだ。

◇というもこの友人はスポーツカー以外大差なく興味がないと常日ごろから公言し、新しい家族を迎える喜びの一方で、他人を乗せる事さえ躊躇し、親友と呼んでいたスポーツカーとの別れをたいへ

ん悲しんでいたからだ。それが、「スキーならSUV、キャンプならワゴンかな、買い物も増えるだろうし、走りは重要だし…どれにすべきかな」と趣味まで増えそうな勢いになってしまったのだ。悩んだ末、結局4シーターのスポーツカーに決めてしまうだろうと予想していたその彼が(彼曰く)“普通の”クルマとともにある生活に胸を膨らませている事が非常に新鮮で、正直驚いた。

◇きっかけはさまざまだが、クルマは移動手段以外にも生活を豊かにするものでもある、という事をあらためて気づかせてくれた友人がクルマを介しどう変わっていくのかが楽しみだ。(K)

JAMAGAZINE編集委員 (会報分科会)

分科会長：日産自動車(株)/志水純之

分科会委員：いすゞ自動車(株)/金子恭子、川崎重工業(株)/森 卓也、スズキ(株)/望月 英、

ダイハツ工業(株)/中大路康太、トヨタ自動車(株)/三好幸子、日野自動車(株)/柳澤昌詩、

富士重工業(株)/川原麻美、本田技研工業(株)/阿部友香、マツダ(株)/矢野圭子、

三菱自動車工業(株)/稲田 開、三菱ふそうトラック・バス(株)/品田善之、ヤマハ発動機(株)/鎌田陽子、

UDトラック(株)/栗橋恵都子

自工会事務局委員：大上 工・藤巻篤史・岡田 徹・林 公子・木村真帆

JAMAGAZINE2月号 vol.49

発行日 平成27年2月15日

発行人 一般社団法人 日本自動車工業会

発行所 一般社団法人 日本自動車工業会

東京都港区芝大門1丁目1番30号

日本自動車会館

郵便番号 105-0012

電話 03(5405)6119 (広報室直通)

印刷 こだま印刷 株式会社

©禁断転載：一般社団法人 日本自動車工業会



JAMA

JAPAN AUTOMOBILE MANUFACTURERS ASSOCIATION, INC.

自工会インターネットホームページ「info DRIVE」URL <http://www.jama.or.jp/> 自動車図書館 TEL 03-5405-6139

